

広島大学病院

Hiroshima University Hospital Medical-Dental Liaison News

No. 29
2013. 6

ニュース



花壇や遊歩道が整備された新診療棟の屋上庭園。奥は入院棟(2013年5月16日撮影)

平成25年9月20日(金)

新診療棟 オープン

9月17日(火)、18日(水)、19日(木)は
外来診療を休みます

- 新診療棟特集
Q&A 外来診療どう変わる?
フロアマップ
一目で分かる受診の流れ
- インタビュー
血液内科の一戸辰夫教授
- ニュースアップ
ドクターヘリの運航始まる
- お知らせ
8月から予防歯科が口腔健康科に
- 催しのご案内

ご自由にお持ち帰りください。

Q & A

外来診療どう変わる?

新しい診療棟のオープンまで3カ月あまりとなりました。新診療棟での受診の流れについてご説明します。

Q. 初診の場合は。

A. 1階正面玄関に入って右手にある記載台で診療申込書にご記入の上、中央受付の「地域連携」窓口か「初診」窓口にお越しください。受付票と一緒に呼出受信機をお貸しします。

Q. 再診の場合は。

A. 予約のある方は、1階正面玄関を入ったところにある再診受付機に診察券を通します。再診受付機から受付票と呼出受信機が自動的に出てきますのでお取りください。予約のない方や予約があっても診察券を忘れた方は中央受付の「再診」窓口にお越しください。受付票と一緒に呼出受信機をお貸しします。

Q. 受付を済ませたら。

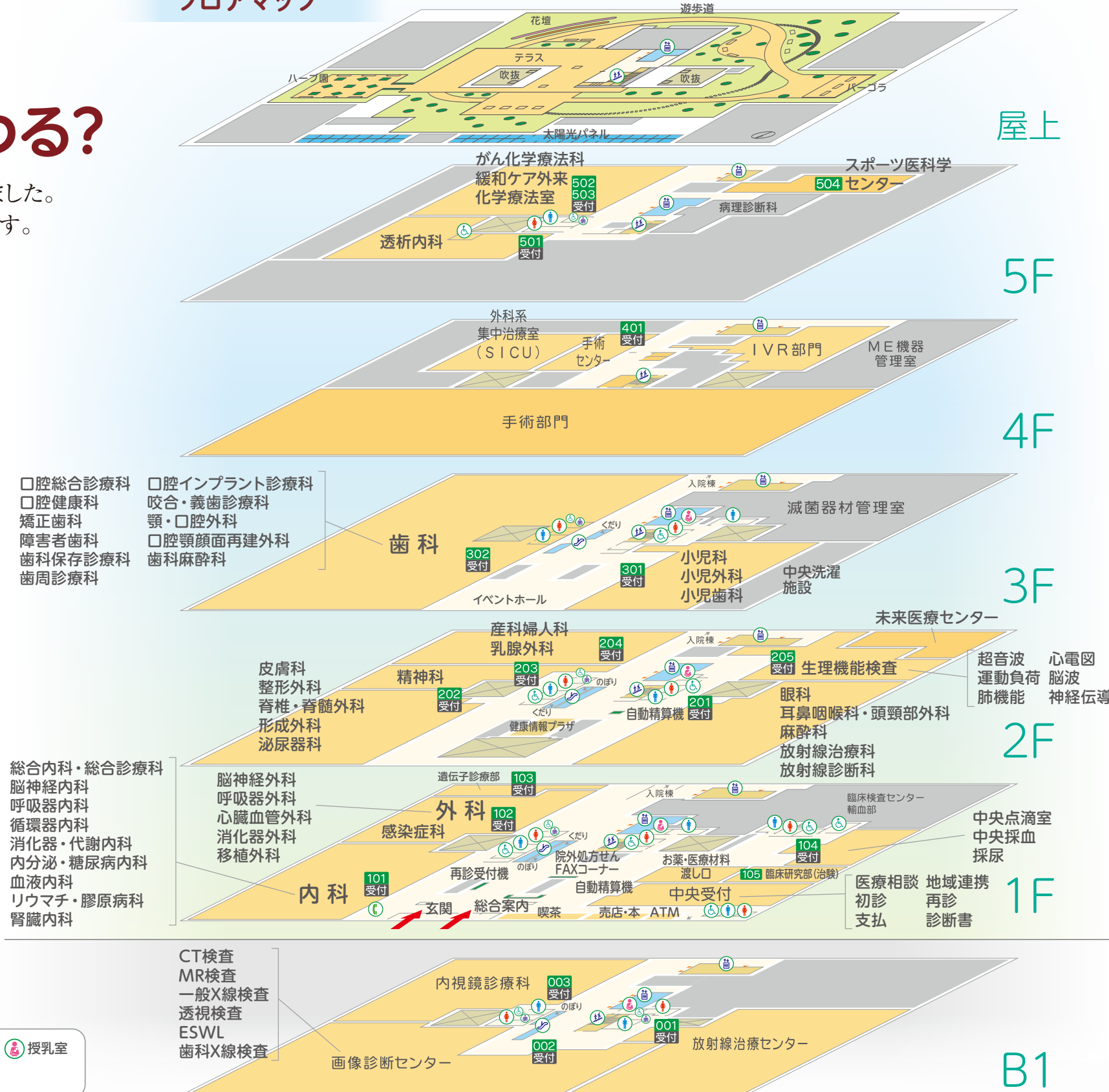
A. 受付票と呼出受信機を持って各診療科受付においていただき、受付票は診療科受付に出してください。診療科受付は幾つかの科をまとめたブロック受付になっています。呼出受信機は必ずご携帯ください。

Q. 保険証確認の方法は変わりますか。

A. 提示していただく場所が変わります。予約のある方は、各診療科受付にご提示ください。初診の方や予約のない方は1階中央受付の「初診」窓口・「再診」窓口にご提示ください。

- 男子トイレ 女子トイレ 多目的トイレ オストメイト 授乳室
- エスカレーター エレベーター 階段 公衆電話

フロアマップ



Q. 診療の時間が来たらどんなふうに呼ばれるのですか。

A. 順番が近づきましたら呼出受信機に音や振動と画面表示でご案内します。オレンジ色の「確認」ボタンを押すと、音や振動が止まります。表示された診察室の近くでお待ちください。順番になりましたら音や振動と画面表示でお知らせしますので、「確認」ボタンを押して診察室にお入りください。



Q. 建物の外に出ている呼出しは可能ですか。

A. 呼出受信機の電波が届くのは診療棟(屋上を含む)と入院棟の中だけです。圏外に持ち出すとピピピという大きな警告音が鳴ります。やむを得ない理由で一時的に外に出られる場合は呼出受信機を各受付窓口にお預けください。

Q. 料金の計算と支払いの方法は。

A. 新しい診療棟では、診療科受付で料金計算を行います。料金計算が終了しましたら、呼出受信機に音や振動と画面表示でご案内します。支払については1階の自動精算機と2階の自動精算機(カード専用)をご利用いただくか、1階中央受付の「支払」窓口にお越しください。自動精算機での支払は、呼出受信機を自動精算機横の回収機に入れていただきますと、支払手続きが始まります。「支払」窓口で支払われる方は窓口で呼出受信機をお返しください。

Q. 薬や医療材料の受け取りは。

A. これまでと変わりません。院内処方の方は各診療科受付で薬引換券を受け取って1階のお薬・医療材料渡し口へおいでください。院外処方の方は各診療科受付で院外処方せんを受け取り、1階の院外処方せんファックスコーナーにお立ち寄りください。

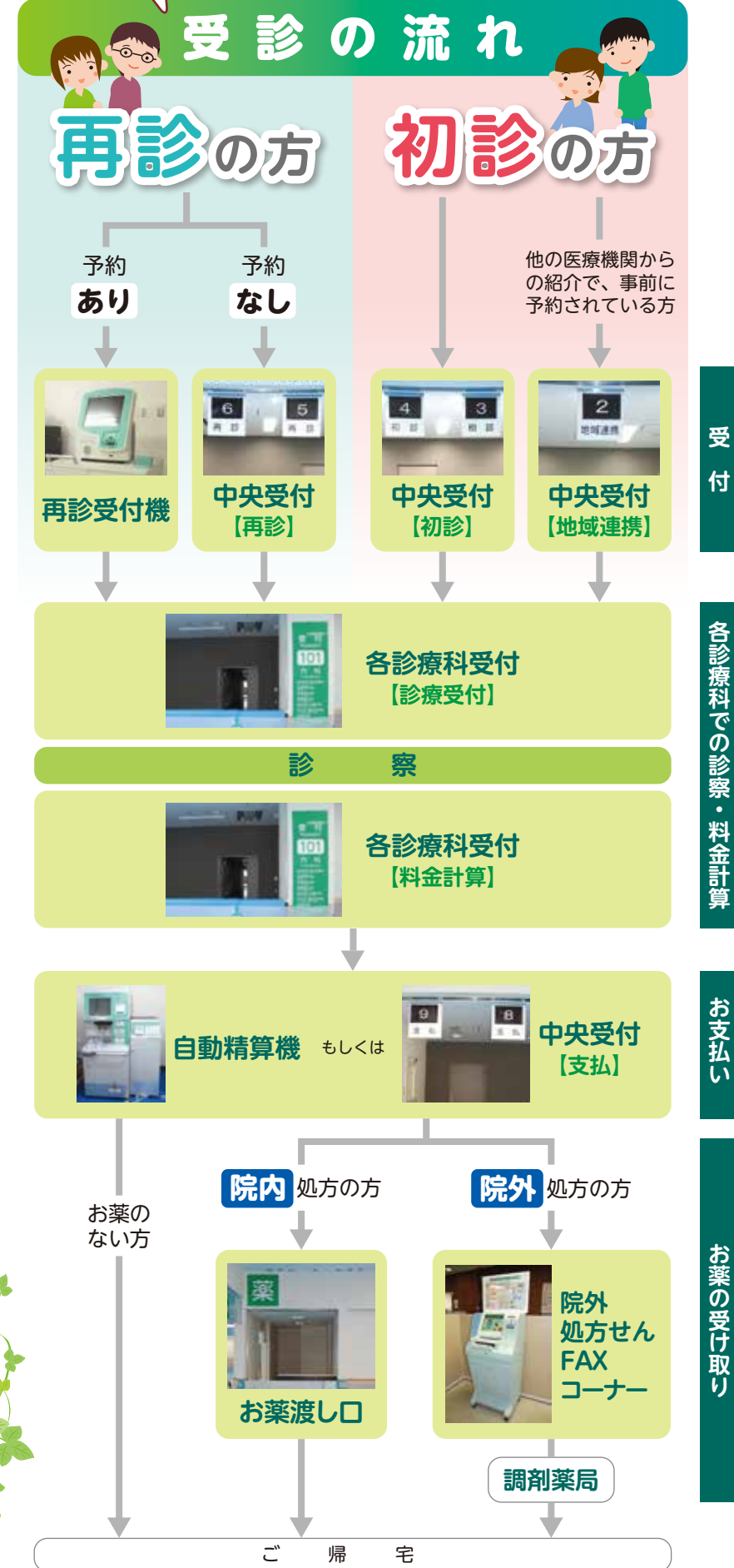
Q. 予約の変更はできますか。

A. できます。受付時間は原則として平日午後2時から4時までです。各診療科受付にご連絡ください。

Q. 迷った場合やよく分からないときは。

A. 1階正面玄関に入ってすぐ総合案内があります。また、各受付窓口などの職員に遠慮なくお尋ねください。

一目で分かる



受付
各診療科での診察・料金計算
お支払い
お薬の受け取り

インタビュー



「やがては白血病も 飲み薬で治る時代に」

血液内科の 一戸 辰夫 教授に聞く

.....

広島大学病院には内科だけで9つあります。その1つである血液内科の診療科長に2013年1月、一戸辰夫教授が着任しました。かつては「不治の病」といわれた白血病の治療成績は劇的に向上しています。治療の現状と抱負を聞きました。

—診療しているのはどんな病気ですか。

成人の血液疾患全般を対象としています。白血病や悪性リンパ腫、骨髄腫などの造血器腫瘍(血液のがん)をはじめ、高齢の原爆被爆者の間で増えている骨髄異形成症候群(MDS)、再生不良性貧血などの造血不全症、血友病などの凝固異常症を診療しています。西南日本に多い成人T細胞白血病(ATL)の専門診療にも当たっています。



外来棟1階にある血液内科の外来

—治療で最も力を入れていることは。

わたし自身は「造血幹細胞移植」という治療を中心に取り組んできました。普通の化学療法だけでは治らない白血病などの患者さんに、赤血球や白血球、血小板のもとになる細胞(造血幹細胞)を含む骨髄や臍(さい)帯血を移植する治療法です。悪性腫瘍のほか、先天性の免疫不全症や代謝異常症、重篤な造血不全症の治療にも用いられます。

—「ミニ移植」が増えているそうですね。

かつては強力な化学療法と放射線照射で白血病の細胞を根絶やしにした後、造血幹細胞を移植する「フル移植」が主流でした。しかし最近では移植前処置の毒性を軽減した「ミニ移植」が普及しています。フル移植の場合、患者さんへの負担が大きいと40-50歳代が移植を受ける限界だったのが、ミニ移植は70歳ぐらいの方まで可能になりました。

—造血幹細胞移植以外の治療も進んでいるのですか。

分子標的薬の登場によって白血病の治療は大きく変わりました。たとえば慢性骨髄性白血病(CML)は、飲み薬で治せるところの一手前まで来ています。昔は骨髄移植をしなければ5、6年で亡くなっていましたが、2001年にイマチニブという薬が発売され、外来で何年間もいい状態が保てるようになりました。リンパ腫や骨髄腫などの分子標的薬も開発されています。

—抱負を聞かせてください。

若手医師の活性化を図ること。車の両輪となる基礎研究と臨床の対話を進めること。被爆地広島で血液学に従事する役割をしっかりと考えていくこと。この3つを目標に、人材を育てていきたいと考えています。

【いちのへ・たつお】 仙台市生まれ。1989年京都大学医学部卒業。京都大学大学院助手、佐賀大学医学部准教授を経て2013年1月から広島大学原爆放射線医学研究所教授。専門は臨床血液学・造血細胞移植。初めて暮らす広島の印象は「川と緑が多くて住みやすい街」。48歳。

ドクターヘリの運航始まる

救命医療のトレーニングを受けた医師と看護師が搭乗する「広島県ドクターヘリ」の本格運航が5月1日からスタートしました。

ドクターヘリは広島大学病院が実施機関となり、毎日午前8時半から午後5時まで運用されます。県内全域を約30分でカバーするほか、島根県内の3市6町への乗り入れも始めました。

基地となる広島市西区の広島ヘリポート(旧広島西飛行場)には、大学病院と県立広島病院から派遣された医師2人、看護師1人が交代で待機。消防機関の要請を受けて直ちに出勤し、現場から大学病院などの医療機関に搬送できる体制を取っています。いち早く治療を開始することで救命率の向上と後遺症の軽減が図られることが期待されています。

5月1日～5月31日の出動件数は計35件でした。



待機中のドクターヘリ(5月31日)



ドクターヘリ運航記念式典(4月12日)

お知らせ

8月から予防歯科が口腔健康科に

糖尿病と歯周病に代表されるような全身的な健康と口腔の健康の関連をベースにした診療・教育の充実が求められています。こうした社会的なニーズに対応するため8月1日から、現在の予防歯科を口腔健康科に名称変更いたします。これに併せて「歯と口の健康管理室」を7月31日付で廃止いたします。

催しのご案内

(2013年6月～8月まで)

いずれも参加無料

がんと歩む人を支える 患者サロン

場所：外来棟3階 中会議室

胃がんの基礎&治療について

6月12日(水) 13:30～14:30 講師：消化器外科医師 田邊 和照

放射線治療の基礎&治療・副作用について

7月17日(水) 13:30～14:30 講師：放射線治療科医師 村上 祐司

食事と栄養について

8月21日(水) 13:30～14:30 講師：管理栄養士 岡 壽子

お問い合わせ：広島大学病院 がん医療相談室 082-257-1525

肝臓病教室

場所：外来棟3階
中会議室

6月11日(火) 15:00～16:00

テーマ

「B型慢性肝炎・C型慢性肝炎
について」

B型肝炎・C型肝炎について

講師：消化器・代謝内科医師 川上 由育

インターフェロン療法の副作用

講師：薬剤師 篠原 清美

お問い合わせ：広島大学病院 肝疾患相談室
082-257-1541